京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

疎影横斜

みどり

▲何底ぞ近來病魔の吾れに禍する頻りなるや、先には屠蘇機嫌の未だ醒めやらざるに、新年の八日余は眼病に襲はれて病褥の人となり爾來約二箇月今又斯病再發して事務を辨する能はざる身となる、四十二年は如何なる怨恨ありて斯くは余に禍せんとはする、呼々、

▲筆を執つて一家を營まんとするものより眼と耳とを取り去るは宛も劍を持つて戰場に立つ勇士より手と足とを取り去るに等し到底其の天職を完うし能はざるは勿論なり天の余に禍ひせしも思ふに其の筆を燒き硯を碎かれんことを慫慂する暗示にはあらざる乎、

▲友あり余に勸むるに『君の眼病は飲酒の爲めなるべし、乞ふ少しく愼む所あれ』と余答へて曰く『好意謝するに餘りあり、されど余が眼病は飲酒の爲めに來るに非ずして他より傳染せしものなり、幸に意を安んぜよ』友呵々として笑つて曰く『井の申し譯は君の牽強附會なり、君知らずや飲酒は少なくとも眼病に大毒なることを』余微笑默して答ふる所なかりき、

▲更に頃日懇親のある韓人來り余の眼部の繃帶を見愕然一驚を喫して曰く『君眼部に支障ありや、余も亦平素眼質惡るし而して余は眼病を釀す毎に必ず附近の巫女をして祈禱せしむ君乞ふ幸に余が勸を容れられんことを』と余答へて曰く『病氣は之れ醫藥を措て他に術あらず巫女の祈禱偶々以て君が眼病を醫したらんも井は僥倖のみ文明の紳士を以て任ずる君としては甚だ頑冥なり稼愚なり』と言ひ了つて哄然大笑せり、

▲韓人は再び膝を進めて曰く『君の韓國に在るや幾年』と余答へて曰く『滿四年有半』『然らば君も漸く朝鮮人化してよき頃なり否な現に化しつゝあり、眼病は以て其の一例となすに足る』と余は其の言の餘りに突飛にして且つ意外なる不審の眉を顰めたり余辭に應じて詰つて曰く『在韓漸く長きに及へば朝鮮人化するが普通の習ひにして又余の眼病は朝鮮人化せし一證なりやといふ意味は如何』と言ひ了るや彼れさも得意氣に説明して曰く『在韓長きに及べば凡ての日本人は勤勉の心を失ひ華侈逸樂一擲して千金を得んことにのみ心を傾け出づるには輕車を驅り入るには室内の數寄身に快きあり然るに君は終日營々として事務に勤勵し維れ日も足らざる有樣ありされど此點に於ては未だ以て朝鮮人化せざれど、近來の如く眼疾を病ふに至つては朝鮮人化しつゝあり蓋し眼疾は朝鮮人の流行病にして古來より三才にして十度び眼病を釀さゞるものは朝鮮人にして朝鮮人にあらずといふ乞ふ了する所ありや』と爰に至つて余は啞然として言の發する所を知らざりき、

文苑

●一簑一笠

青楓

顧へば早し去年の春、婉婉なる鶯聲は、既に幽邃の深山深谷に老ひ、殺郁たる櫻花もまた漸く香を收め、獨り桃櫻李花の季至りて、是より汝盛を極めんとするの時、余は懷しき故國の山紫水明をすて、蹶然起つて遠く渡韓の途に上りしなり。

余は素より失戀者にあらず、されば世を敢果なむ悲觀者にもあらず、さればとて、雞林八道絶景なる、偉大の劇藥のあるにもあらず、唯だ是れ、純然たる競爭場裡の一窮鼠に過ぎざるなり。

四十一年三月十二日、夜來の雪止みぬ、余は、泣き縋る妻の手を拂ひ、電車に乘りて、新橋ステーションに着く。

オゝ來るは〳〵は幾千の男女、アゝされど、余が行を送るもの、病める姉上と、義兄上の愛娘なる花ちやんの二人のみ。

義[illegible]くに、餘義なく見送りくる〳〵、百千の人よりも、此の病める姉君の握手と、神の如き無邪氣なる花ちやんのおばよの一聲は、余が意を強ふするに足りぬ。

かくて時は迫りぬ、姉君はたゞ默念と涙を吞のみ、余は泣かずとつとめぬ、ハヤ列車は立たんとす、おばよ花ちやん、さらば姉君、健在なれ。

汽笛一聲、煤烟高く新橋を發車して、品川や大森鶴見神奈川と、昔に名高き東海道は、五十三次を西へ〳〵と走りぬ、そもや東海道下りは、余が初手の行旅…沿道の山河水田、これ皆目新らしきものゝみ。

同乘者は、重に上方人の東都同覽の歸途の客にして、東京人とては、たゞの五人なりき、されば、滿堂に起る喋々喃々の聲は凡てこれ上方辨にしは、關東派の生粹たる江戸ッ子の辨や寂々たり。

佐倉宗吾

（廿四）　眞龍齋貞水講演

會津中將正之公は、二代將軍の御子様にて松平肥後守と申し上げ、大した御方でございます、それで中納言光國公は、此肥後守に御相談、實は堀田上野介の驕奢は斯様な次第であるから、一應御調べ相成るべき譯であるが、併し天下後見より一言申したならば、必ず共に、堀田上野介が父親盛の仁政にまで、不審に思召すから取調となりらぬからと、所謂上寛仁大度の御情を以て堀田家へ瑕瑾でも付ける事があつては相成御溜所御同席の上、殿中大廊下、上の御廊下にかで、堀田上野介を御召し、堀田公は御用を御執になり、御いそがしい權勢家であつた、其人が大廊下、上の御部屋へ出て見ると、水戸、會津の兩公が控へてゐる、兩手を突いて堀田公が　堀『只今急に召されましたが、何御用で候や』　水『上野ッ』　堀『ハ、ハーッ』　水『其方は國方政治の儀に就いては是まで聞きし列のあらざる、百姓共が用ゐる簑笠の運上、天秤の運上等を取立てると云ふ事であるが、甚だ以て宜しからざる事なり、先代加賀守の政治上の事は、豫て光國も能く承知いたして居るなり、汝心得ず致して國元家來共の政治向も知らざるならん、早々父加賀守の代の如く、仁政に戻して、國の民を撫育いたして宜からう、就いては大竹村の萬兵衞と申する親子、身が貰ひ置くぞ』と仰せられた、上野介承つて、ッも返すことが出來ない　堀『ハ、ハーッ』それで御詰所へ御引取になつたが、御若年と云ひ、短慮の御方であるから、勃然として居らつしやる、夫から公用を濟まして、淺草堀田原の御上屋敷へ御歸りになりまして以ての外の御憤り、早速での趣を、國表へ申し送りました、すると堀田玄蕃うれをて、承り　玄『斯は大變が出來した、簑笠の運上、天秤の運上が天下御後見の御耳に入つたのも、大竹村万兵衛奴から、申し立てたに違ゐない、早速これは取消さなければ成らぬ』と、しぶ〳〵是等の運上は取消したが、さて、新地『萬石開發の黒鐵料を茲に失つて仕舞つた、憎い奴は大竹村の万兵衞と思つたが、萬兵衞は水戸樣の方へ取られて仕舞つて、何うにも斯うにも仕方がない、夫れで斯りや一つ憎い奴であるから、大竹村の名主を喚出さう、而して以來かやうな事のないやう、一同の懲戒に致さうと、茲に大竹村の名主、安右衞門と謂ふなか〳〵良い人間でありますが、此安右衞門の所へ人を遣つて、玄蕃屋敷まで罷り出るやうにと傳へた、安右衞門は　安『待てよ、斯りや此度萬兵衞が逃げた一件だ、彼の時は村内の者が、役人が彼方へ引つ張り廻し、此方へ引つ張り廻し、燒舟の穴の明いてるのを潜出したり何かしたから、其事に就いて喚出されるに違ゐない』と思つたが、城代の勢ひで喚付けられるのだから仕方がない、安右衞門をかり出しました時に、心得違ひ、安右衞門を白洲へ引付け　玄『コレ安右衞門、其方は日頭村内小前の百姓共へ對し、諭告が惡いに依て、此度万兵衞なる者が親を伴れ、水戸御潮來へ逃込み終に、御當家御國政の如何を御中納言殿に對し、是れ皆な其方の不埒なる故からぢや、就いては其方は萬兵衞親子の代り、處刑申し付けるに依て、左樣心得ろ』驚いたのは安右衞門、それは大に相違してゐると、明らかに申し上げやうと思つたが、固より謀んだ事とて、其事も叶はず到頭安右衞門は、孩の嘉と謂ふ所へ引出されて磔刑に行はれた、無理と謂はうか、非道と謂はうか、申さうやうもございませぬ佐倉領の者一同は、之を聞いて皆な『アゝ斯りや大變だ、幾ら名主が命令けたからと云つて、小前の者に始終身体がくつ附いて歩いてるんぢやねぇから、其小前の者に不都合があつたとて、そりや何とも仕樣のない話し、それを名主の諭告が惡いと云つて、引張り出されて、御處刑されたにや、迚も名主役は勤めて居られない、とんだ事が出來た』と一同が額を鳩めて相談しました

京城新報

鐵道繁榮策

鐵道當局者の鐵道經營に對する態度を見るに兎角姑息に流るゝ傾ありて積極的ならざるを余輩は常に遺憾とするものなり、現在に於て收支の償はざるが爲に只管に經費の節減を計るの結果京釜間の夜行列車を隔日になしたる如きは消極的の最も甚だしきものたるなり、若し夫れ經費の節減せざる可らざる必要ありとせば冗員の淘汰或は營業に影響せざる限りに於て冗費の節約を爲すべきなり、然るを直に營業の上に節減を加へ運轉度數を減ずるが如きは全く營業を繁榮ならしむる所以にあらず、交通運輸の業たるや最初より乘客も貨物も充分ありて利益を揚ぐること稀にして、多くは漸次其利便を感ずるに至りて始て利益を得るに至るべきものなり、故に營業者は能く忍耐して種々なる方法を講じて乘客及貨物を吸集するに努めざる可らず、然るに其方法を講せずして收支償はざる爲に其營業を減縮すると云はゞ何事か之を無能者と嘲笑せざらんや、之が收支の償ふまでは經費を節約して所謂冗費節約は必要なり、此方面の節約は措て營業の上に減縮を行ふは非なり、余輩の鐵道當局者に望む所は冗費は可及丈け節約するも其營業は益々擴張せらるゝ事なり時將さに春風駘蕩の候に向ふ、此時に際して乘客を增し貨物を吸集するの繁榮策を講ずるは當局者の任務ならん、其方法として韓國人の觀察者を增加せしむる事、溫陽溫泉及東萊溫泉行乘車大割引、水原の大神宮參詣者を增加する爲に水原に何等か人を吸引するの設備、其他近郊に人を吸引するの設備、更に進で韓人をして多く乘車せしむる方法、總て日本人のみを標的とせずして一般韓人をして乘車行樂の趣味を感ぜしむるの方策等を案出せざる可らず、營業として利益を揚げんと欲すれば種々の方法を講究案出して繁榮を計らざる可らず、貨物の如きも韓內地の貨物を吸集する方法に就て尚ほ優に餘地あらん、日本より輸入の貨物も汽船との競爭に於て尚多少の餘地を存せん斯く種々なる方面より營業の發展を企畫せば漸次に收支相償の時來るべし、現在一日の收入が一萬圓にして支出一万三千圓差引三千圓の不足なりとて之に吃驚して運轉度數を減ずるが如きは眞に姑息極る措置にして營業を繁榮せしむる趣意に反するなり、若し夫れ當局者にして靜に熟慮し余輩が述べたる如き幾多の繁榮策を講じて着々之を實施し銳意黽勉せば必ずや收支相償ふべき時の來るのみならず、韓國の年々發展するに伴ふて今日の收支は顚倒して大なる利潤を見るに至るべし、此好況を將來に見んと欲せば今に於て大に積極的の施設をなさゞるべからず、余輩は之を當局者に勸告するものなり、

東京電報

▲政友會の作戰計畫 政友會の總務幹事は昨夜議長官舍に會合し三稅廢止案に對する作戰計畫の打合をなし歸省中の議員には歸京を促せり

▲非改革派の報告 進步黨非改革派は昨夜又々報告書を發せり署名者は三十三名なり

▲進步黨の臨時大會 進步黨非改革派は臨時大會の開催を本黨本部に要求せり

▲討伐隊行賞 韓國守備軍第十三第十五兩師團に對する暴徒討伐行賞は本月十五、六日頃第一回發表を見るべく將校に在りては一時賜金下士以下に在りては賜金又瑞寶章を下賜さるゝ筈なり

▲閔宮相の出發 閔特使には本日東京出發、小田原、名古屋、大阪、廣島を經て十五日頃歸城の筈

雜報

●陸軍祭彙報

▲韓皇室の下賜金 韓皇陛下太皇帝陛下は陸軍紀念祭祝典費として各千圓宛御下賜金ありたり

▲統監寄贈金 伊藤統監は陸軍紀念祭費に千圓を寄贈せり

▲紀念祭寄贈品 陸軍紀念祭に左の如く寄贈品ありたり

一ビール十打 東洋拓殖會社
一風船二十個 神崎團次郎
一ビール四打入箱三個 廣瀨友輔
一淸酒白鹿大樽一挺 前田喜聽
一烟花百發 田村作太郎
花火白發及爆竹三個 須々木權次郎
町田文次郎外五名

●副統監の訓示

曾禰副統監は過日松井警務局長、若林警視總監に對し外國人の取扱を愼重にす可き旨を訓示したるに依り松井局長、若林總監は管內高等警察係に向け其旨訓令を發したりと云ふ

●東拓本社位置

東洋東拓株式會社の本社を龍山に移すなるべしとの說先日來專ら巷間に傳はり居れども同社定款に「本社を京城に置く」と規定しあれば良し移轉を爲さんとするも定款變更の上ならでは實行し能わざるべし

●東拓と出稼人

近來東洋拓殖會社に雇傭せらるゝ目的を以て漫然渡韓する勞働者少からざる由なるが同會社は未だ事業に着手せず全く勞働者を要せざる現況なれば此旨を管內勞働者に周知せしむる樣取計ふ旨此程其筋より各府縣に通牒したりと云ふ

●東拓土地調査及支部設置 拓殖會社にては驛屯土其他の土地調査の爲め第一着手として曩きに水原及木浦地方へ社員を派遣したるが參事大橋重省氏も又明

▲横貫鐵道案可決 横貫鐵道布設建議案は委員會にて金尾稜巖氏提案の理由を說明し大屋政府委員は測りたるが元山京城間の布設に二千百七十八萬圓を要するを以て統監府の財政今[illegible]一致を以て建議案を可決せり

▲貴族院の二案 貴族院本會

日群山地方へ出張の筈にて之れが調査は渡支部との土地引繼ぎに關する準備と支部設置の用意等にて今後も續々社員を出張せしめ調査する筈なりと云ふ

●地方祀費の支給

從來各府各郡に在る社稷團の祀費は內部の豫算に計上し祭祀執行の都度內部より支出したるが本年度よりこれを學部に移したるは既報の如くなるがこれと同時に孔子廟の祀費も亦學部より支出する事となり過日內部大臣は學部大臣と協議したる結果其旨各道各郡に命令を發したる由にて學部は不日社稷團祀費及孔子廟祀費を支給すべしと

●漁業法の施行心得 農商工部水產局に於ては近々施行せらるべき漁業法に對して當業者及地方觀察使等の爲め該法施行に就きての心得書を頒布すべき筈にて目下夫々査中なりと云ふ

●伊藤統監の道後行 伊藤統監は村田少將古谷秘書官小山技師を隨へ九日東京出發大磯に歸へられ十一日大磯發十二日舞子十三日尾の道を經て十四日伊豫道後溫泉に赴かれ暫時同地に滯在し靜養せらるべし

●昨日の定例閣議 昨日は閣議の定例日に付午後一時より總理大臣以下各大臣內閣に參集し關稅局官制改正(定員增加)其の他の政務を審議せり

●統監政治の質問

大竹代議士演說の一節

第五には統監府は新聞記者及び通信員を買收若くは壓迫し、其の他總ての言論を拘束して韓國の眞相を掩蔽するの狀あり其の事實如何、斯う云ふことを聞きたいのであります、で京城には御承知の通り京城新報、大韓日報、京城日報、朝鮮日々とか或ひは仁川には朝鮮新聞其の他各方面にナカく韓國には新聞が澤山あるのであります、然るに此の韓國に於けるところの新聞は勿論內地から派遣されて居るところの新聞記者及び通信員と云ふものが己れの本社より貰ひ受けまするところの報酬よりは寧ろ統監府よりはそれより多くの俸給を貰うて居るのであります、それ故に何事も此の韓國の狀態をして宗主國たるところの帝國に通信することが出來ぬのであります、例へて云うて見ますれば、此の

京城新報

の如きは峯岸繁太郎と云ふ人がやつて居るさうでありますが、統監府に向ひましてなか〳〵强く書いたさうでありますが、所が頻々と發行停止を喰ひましたので到底やり切れませぬ故に、遂には發行禁止をやられるやうな非常な境遇に陷りました故に、自分の方から京城新報の廢刊を屆けまして、さうして京城新聞の名の下に於てやはり筆を續けて統監攻擊をやつたさうでございます所が此の京城新聞が尙又停止を喰ひまして是亦發行禁止になると云ふ運命になりましたから、是は又廢刊をして、元の京城新報を今日は名を改めてやつて居ると云ふことである、又此

大韓日報

の如きも是も殆ど發行禁止を命ぜられんとしましたが是は何か伊藤統監の喉笛でも押へる種子でもありましたか、非常に抗議を申込んだので遂に伊藤統監は已むを得ず、此の繼續發行を許したと云ふことであります斯樣な威壓の方から以ても新聞と云ふものを抑へ又收賄即ち此の今申上げた如く己の本社より貰ふところのより以上多き手當を統監府から受けるとでありますから其の他は推して知るべきことであります、

▲追加豫算可決 前後策の請願は延期となれり 衆議院豫算會にて四十二年度追加案及同特別會計追加案は分課會決議の通り可決せり

●露領の外人排斥

露國財政委員會は黑龍江省出稼淸韓人排斥法案を是認し且同法案を一般外人にも適用することを可決せりと云ふ

●韓婦人養蠶講習 在龍山の大韓婦人會に於ては數年前より養蠶講習所を設置し生徒を養成し來りしが其の當時に於ては韓國婦人の入學希望者僅かに一名に過ぎざりしを以て止むを得ず男生を以て補充し來りしが一昨年に於ては四名の生徒を收容し昨年度は十三名の女生徒を收容敎育せり而して本年度に於て女生徒の入學希望者非常に多きを以て定員を二十名とし四月十日より入學試驗を執行し四月十五日より入學を許可すと云ふ而して修業期限は六ヶ月とし在學中は食費として一人一ヶ月金六圓を支給し養蠶製糸の學理及び實業を敎授し卒業者には卒業證書を授與すと

●陵園墓山林の數(訂正) 昨紙に今回宮內府より農商工部に移りたる陵園墓山林として列記したる十八箇所は其の全部に非ずして過日農商工部が技師を派遣して調査せしめたる一部分に過ぎず全國各地に在る農商工部所管となりたる該山林は八十餘箇所ありと云ふ

●金融組合の設立期 曩に報導したる韓國政府の借入金百萬圓の內六十萬圓を農工債券引受けに使用したる殘金四十萬圓を資金として增設する金融組合五十箇所は目下其の位地の選定中にして四月中に半數五月中に半數の設置準備に着手し七月頃に業務を開始する豫定なりと云ふ因みに現在の組合は五十箇所なり

●農林學校の生徒募集 水原なる農林學校は從來學年初めに於ける生徒募集は四十名の本科生若干名の別科生なりしが本年度よりは八十名の本科生を募集する事となし(別科生は募集せず)滿十五歲以上三十歲以下にして身体强健品行謹正なる在學中家事に關係無き者の小學希望員は三月三十日迄に同校に願出を提出すべく四月一、二の兩日日語、數學、漢文、普通學校卒業程度)の學科に付漢城外國語學校に於て試驗の上採用すべしと云ふ因みに入

●警報 [illegible]風强かるべし低氣壓の位置は[illegible]低氣壓の進行は東にて警戒區域は北部及中部なり[illegible]

學生に對しては一ヶ月六圓の割合にて食費を給し寄宿舍に於て起居せしむと

●北韓航路と舞鶴 裏日本と對岸との連絡貿易關係に就ては夙に當業者の注目する處なるが今回元山商業會議所は一千五百噸の汽船を以て舞鶴、元山、淸津、敦賀、伏木、七尾間の航路を開始せんと計畫を爲し去月中我遞信大臣及韓國農商工部大臣に向て五ヶ年間毎年一萬五千圓の補助請願書を提出したる由なるが舞鶴の有志者も同港を貿易港とするにつき前年來運動し今回京阪神の商業會議所に向ても贊助を求め來れるにつき神戶商業會議所は四日の役員會にて協議を爲したり尙舞鶴開港については神戶稅關長も贊成の意見を有すと

●巨濟島漁民移住 漁業家香椎源太郎氏は豫て半農半漁主義にて本邦漁民の韓國移住を計畫し各種の調査に從事し居たるが愈々巨濟島の玉浦(韓名オツケ)を選みて移住漁村地と確定し本年度より愛媛縣の漁業者四五十戶を移住せしめ三年繼續事業として同計畫を完成せしむる筈なりと

●絶影島土地所有權 絶影島(牧の島)の土地所有權に就ては曩に當局者も頭を惱まし漸く龜山理事官等の斡旋にて其所有權の確認を得るに至りたるも今日まで未だ法律上の示す認證即ち所有權者に對して形式上の地券の交附なきを以て一二の疑惧心に驅らるゝ者は大に懸念し居たるが過日度支部大臣より東萊府尹に對し夫々地券交附の訓令達したる由なれば金府尹は今後其地券下附の手續次第地券交附する筈なりと云ふ

●廣田囑託の視察談 曩に一月中北韓地方理事廳管下小學校に於ける冱寒時敎育狀態視察の目的を以て元山城津淸津北方へ出張したる同氏は去る五日歸任したるが其談に依れば各地とも極寒に基因する生徒の缺席遲刻數も極めて僅少にして槪して良好の狀況にある由なるが學科進步の景況は南韓地方に比し稍々劣る所あるを認めたるを以て各地當局者に對し注意を與へたるが一般に良好なる成績を表せりと

●警察官茶話會 內部警務局は吉永忠南飯田京畿湯淺慶北の各警察部長及び渡邊釜山署警視並に東京警視廳より群山警察署長に轉じたる佐藤警視(利三郎氏)の來京を機とし本日午後二時より同部食堂に第七回警察官茶話會を開催し齋藤警視の地方視察談及び飯田湯淺兩部長の講話ありたり

●宮舘署長の注意 仁川警察署長宮舘警視は近來日本人にして度支部主管の土地及び其の他の國有土地を小作人又は土地管理者より買收するものあるより右に就き所轄內に其の注意をなしたる由なるが其の要領を聞くに右は全く買收の損失に歸するものにして屢々被害者の生ずることを耳にせるが客年十一月中統監府と協議の上日本人にして國有の疑なき土地を買收せんとする時は所轄財務官に就き度支部主管の國有地にあらざる旨證明を得たる後郡守又は理事廳の證明若くは査證を受くることゝなり居れば韓國にて土地を購入せんとするものは充分注意すべしとなり

●三浦氏轉任せず 先頃上京して一昨夜歸られたる三浦京城理事官が外務本省に轉任すべしと報ずるものあれども右は事實に非ずと云ふ

●獨逸人の美擧 獨逸總領事代理ドクトル、ウエンジュ氏及同館員京仁獨人より文川郡饑饉被害民救濟の擧ありしが尙又今回在宣川獨韓シンヂケート及其社員一同より金百廿五圓を醵出し獨乙總領事代理より統監府に其配與方を申出たりと

●慈善婦人會義捐 韓人の組織せる慈善婦人會は一昨六日總會を開き文川郡饑饉に對し義捐金を募集することを決議せり

●仁川民團豫算會議 仁川民團第五民會は本日午後七時より仁川民團樓上に於て開かれ四十二年度豫算に就き再び議せらるゝ筈なるが本會には前回議案の外に窮民救護舍建設の件を議せらるゝ筈なりと云ふ

●朝日丸の入港 仁川大阪間の商船定期航路船中に本月より從來南淸航路の定期船に充てられ居たる厦門丸が派遣せらるゝことに決したることは既記したる所なるが本月末一航のみは同船は他に向けらるゝこととなり朝日丸をして代船として急航することゝなり昨日仁川に入港したるが積荷は近來になき多額にて二百余屯の雜貨を積載して來れりと

●仁鎭間の初航路 仁川鎭南浦間航路船の初航路は大阪商船にては曩に仙頭丸を派遣することに決したるが其の後同社にては船繰の都合上同船を廢し更に安東丸を急派することゝし本日大阪を出帆せしめたる由なるが同船は本航より遞信省の命令航路船となりたりと云ふ

●平壤の國旗演說 大韓日報京城支局の主催にて平壤に催されたる國旗事件演說會は去る六日午後六時より同地箕陽俱樂部に開かれたるが來會者七百餘名あり岩崎大韓日報支局主催開會の辭を述べ伊藤民堂(平壤新報)橋本恒藏(同新聞有志)古莊(平壤新報社長)能島(電巡)山崎(大韓)今井(日々)諸氏の演說あり終りて聽衆一同は左の決議をなせり

韓皇巡幸中に於て我帝國旗に對し韓人の爲したる不敬は統監政治の頹敗に基き日韓本國の親善を沮害するものと認め速かに當局者の處決を促さん事を議決す

●警備電話開通 全羅北道南原雲峰間警備電話は三日より通話を開始す

●京城民會 八日午後六時より京城民團にて民會開催し一般會計特別會計豫算の調查あるべし

公人私人

▲山根東拓殖民課長 は八日午前八時三十分發の列車にて東上せり

▲太田憲兵大尉 は明石少將に隨行十一日東上の筈

▲三浦理事官 一昨七日八時二十分南大門着の列車にて歸城

▲中村農務局長 長原同課長の兩氏は本日午前八時五十分の列車にて東上

▲藥師川憲兵少佐 一昨夜歸任

▲仲木浦理事官 一昨八日出發歸任

▲木原方吉(佐賀縣水產組合技師) 去る六日入城不知火旅館に投宿

▲安藤靜氏(法典調查局事務官) 去る七日平壤へ出發

▲古宇田實氏(義州學校敎授) 同日入城天眞樓に投宿

▲滿部三九郎氏(安東縣營林廠技師) 同上浦尾旅館に投宿

●近事片々

▲統監 後任は亦も持上がれり議會閉會後に於て寺內陸相其後任たらんと或は然らん

▲寺內 後任說も隨分古い說だが孤筆の與も屢々出れば事實となることあり事實如何

▲此說 は歐米に於て此頃喧傳へらるとの說あり果して事實なら統監政治の前途如何

▲是に 就て歐米にては日本の對韓策に一變化あるべしと觀測するものありとは眞乎

▲寺內 氏後任說に就ては世間未だ定評なきも此際更任は統監政治の刷新に効あらん

▲後任 者としては他に適當の人物あらんも種々なる行掛上或は寺內氏に鉢廻らんか

▲後任 者の決定と共に統監府の官制も多少變更する所あらんとは是又世間の評判也

▲臺灣 統治が幾度か總督を換へて成功したるが如く韓國も二三の更迭は止むを得ぬ

▲中間 のくさびとして副統監が出れば夫で多少の刷新は擧げらるべし是亦時に必要也

▲曾公 は智を以て統治したり次に來るものは雄略を要すとは最早世上の輿論ならん

▲智略 三年間の成蹟は華麗にして實效に雄略は華麗ならざるも實質に於て優らん乎

▲帝國 議會に於ける三稅廢止案の運命は多數黨の橫暴にて通過到底覺束なからん乎

▲然れ ども之が爲に島田沼南其他名士の正義の叫聲は全國に響き渡るゝも快也

▲織物 業者の上京運動に就て警察官の拘束頗る嚴也島田沼南の麴町署長叱責は痛快

▲桂首 相も沼南正義の舌鋒には殆ど辟易せる樣樣大頭候の智も正義には敵し難き乎

▲進步 黨の[illegible]犬養木堂の男らしき態度は世の同情を得て終に勝閧を揚げたり

▲之に 反して大石は世の同情を失ひ將に政界に失脚せんとす出處進退は愼むべき也

▲新大 統領タフト氏就任し前大統領ル氏は國民に惜まれつゝオイスターベーに去る

▲惜も 之よりはタ大統領の東洋政策こそ見物なれ或は多少の變態を現出し來るべし

▲横貫鐵道案可決 横貫鐵道布設建議案は委員會にて金尾稜厳氏提案の理由を説明し大屋鐵府委員は統監にても本鐵道の必要を認め先年實[…]一致を以て建議案を可決せり

▲貴族院の二案 貴族院本會議に於て鐵道會計法案の可決確定す 競馬[…]

▲追加豫算可決 衆議院豫算總會にて四十二年度追加案及同特別會計追加案は分課會決議の通り可決せり（以上八日發）

[…]低氣壓の進行は東にて警戒區域は北部及中部なり（八日午前十一時七分仁川觀測所發）

雜報

●酒井政平の破綻（十四）

……▲悲むべき居留地の問題▲中村再造氏の被告事件眞相……

口頭辯論調査（前號）

右原告青木一葉外七名及原告大餃マサ代理人被告中村再造代理人出廷被告酒井政平欠席

原告等は訴狀に付一定の申立及請求の原因たる事實の大穏を演述す

被告代理人は　原告等の請求却下の判決を求め一定の申立を爲し原告等が被告酒井家の財産整理に付熊谷市原の兩人に依頼したる事に付ては被告中村は何等の關係なく又右依頼の結果市原熊谷兩人より整理案なる者發表せられたるも該案には一の條件附加せられありて絶對的のものに非ざりしが其條件成就の見込なく且債權者間に異議ありて市原熊谷の兩人脱退し終に該案は消滅に歸したるものなりと抗辯したり

副理事官は原告等に對し

問　本訴の原因は五月廿九日附の承諾書に基くものなるか

答　然り

問　其契約の際債權者は悉皆集會したるか

答　一二人の不參ありしも大抵債權者會合したり

問　其際市原熊谷兩人の整理案には絶對服從する旨の協議を爲したるものか

答　左樣なり

被告代理人に問　被告中村は右契約に關係なしと主張するか

答　然り

問　中村が管理委員に選まれたることは認むるか

答　全く認む然れども整理案發表前韓國領事館に宴會のありたる際中村は市原熊谷兩人と會合せしが其際兩人は中村に對し君の方から讓歩し異れねば整理困難なるが何とか都合着くまいかとの相談ありたるより中村は然らば當現金一萬圓を差出て抵當地を買受くべしと答へ其儘分れたりしが其後兩人中村宅に至り尚一歩讓歩し異れ間敷やとの申入ありたるも中村は此上讓歩の余地なしと答へ其交渉中に整理案發表しれるものなれば其案には絶對服從の義務な[…]

問　中村の管理人になりたるは如何なる譯か

答　債權者等より選まれたるものなり

問　中村は默諾した譯か

答　然り然れども案に絶對服從する意思にては受けたるものに非ず

問　條件とは

答　中村の謂ふ如く一萬圓の正金を差出して事圓滿に納め得らるるならば整理案に同意すべきも然らざれば案には服從せずとの意思を表示し置きたるもの也

問　案に第五條の規定ありたることは認むるか

答　認む

問　被告中村の抵當登記は本年四月中に經由したることを認むか

答　然り認む

問　原告等より抹消登記の請求ありたることをも認むるか

答　認む

被告代理人の求に依り原告等に對し

問　五月廿九日に被告中村は欠席したることは認むるか

答　然り欠席したる故に熊谷は電話にて呼びたるも中村は出席せざりしか熊谷は中村の事は自分にて萬事引受くるとの事なるより一同協議の上承證を作りたるものにて後に中村も承諾したるより該證に調印したるものなり

原告等は甲第一乃至三號證を提出して原告等の主張を證したり

被告代理人は甲第一號證の認否は后に申立つべし

甲第二三號證自體は之を認むるも其證の趣旨は之を認めずと述べたり

原告等は　市原熊谷の兩人は案を發し殊に責任を盡したるものにて監理委員は該案實行の責任あるものなり

被告代理人は右兩人は實行の責任あるも實行不能なるより十月廿五日頃案を消滅に歸したるものなり

原告等は其主張證明の爲め證人にして左記の者を喚問ありたしと申立たり

市原盛宏
熊谷頼太郎
森田熊夫
須田近思郎

被告代理人は市原熊谷兩人の喚問は異議なきも他は不必要なりと述べたり

副理事官は右申請中市原熊谷兩人訊問の件のみ之を許容し他は暫く之を留保するとの決定を言渡し證據調の期日を來る十二月十五日午前十時と指定し同日時出頭を當事者に通したり

●韓國の下田歌子

▲十三年振りにて歸鄕　▲奏任官四等に叙さる

今を去る一昔ふやめ女郎花にも譬ふべき幼女の身にてありながら懸しき故山を後に見つ波風荒き玄海灘を渡りて身を異境の客舍に寄すること十有三年其の間指掘勉勵倦まず撓まず學びの道にはげみたる効空しからで今回奏任四等の譽ある肩書を荷ひ漢城高等女學校教授に任ぜられたる尹貞媛女史の優に芽出度き物語りを記さん女史は今より十三年前十三歳の幼齡を以て當時の日本領事秋月夫人等の盡力に依り東京に留學することとなり原六郎氏夫人監督の下に尋常高等小學校を卒へ更らに進んで高等女學校に學び傍ら英語を修め尚はも女子音樂院に通ひて大いに修得する處ありたるが爾來女史は安平貞子と改め名聲やうやく東京に於ける女子教育界に嘖々たるものありしが然るに再昨年の事秋月領事は白耳義公使に轉じて同地に赴任することとなるや女史は家庭教師として同地に隨ひたるが之れ女史に取りて將來才媛の名を爲す唯一の端緒たりしなり其の後漢城に官立高等女學校の設立あるや當事者は女史の學才を羨望し是非にと乞ふて同校の教授たらんことを圖りしに女史は早速承諾し近く赴任すとの事なるが學部にては特別の詮議を以て去る四日附にて奏任官四等に叙したりといふ女史齡二十有七、姥櫻の色香は既に失せたれど天の成せる麗質は何所となく艶に見ゆ而も氣品高く韓人としては珍らしき方なりとか因に女史今回の歸國は十三年振りなれば兩親の喜び如何許りならん

●深山の美人

▲れふでの素性

男は何の小猫なと請ぬに傍らにありし樫の六尺棒をば取るより早く青年の頭上目蒐けて打ち込み來りたるより青年は飛鳥の如く身を瞽はすや空を打たせて直ぐさま先方の胸倉に飛び込み柔術の手をば利用して物の見事に一間許り投げ飛ばしつゝひて馬乗りとなりて男の横面をば力任せに五ッ六ッ張りのめし甦て口を開き此れでも話しが判らぬかと怒氣を含みて言ひたるに男は苦しき息をはハツませながらエゝ何も金次第だ何うせれ前さん見たやうな豪氣な且那が附いて居る以上は何といつても女の手に入る筈はなし野暮は言はねー女はスッパリと諦める代り五十兩の手切れ金今爰で渡して貰ひてえものだ」と喧嘩では負けながらも飽迄女よりユスらんとする下司根性青年も男の心根の淺猿しさに寧ろ憐れさの情起り五十圓の金で立派に二人の關係を絶ち得るとせば女に取つては安きものと青年はニッコリ笑ふて男に向ひ「然らば五十圓の金は自分より耳を揃へて其方に渡しやる程に以後は女に就いての事は一切關係せぬやう……こ」と言葉を和らげて言ひ含めたるに男は「五十圓にさへ有り附きやあ何を彼是申しませう」と納得し早速以前の席に直りて五十圓の遣り取りをなし證書を取りて一先づ段落を付げたれば青年はやれ御苦勞な役目と男に暇を告げ家路を急ぐ道すがらあたりに人なきを幸ひに幾度か浩嘆し「自分が今迄處世上蹉跌せしも皆他人の爲め兩親兄弟親族のものよりも幾度となく意見され忠告されしも元は之が爲め果ては千圓の資本を最後の資金故に我の氣象で世渡りが出來るなら結構な話し、併し擧一二も失敗せし其の際は父は決して相手にせぬ」ぞと言はれしとき胸の中、然るに國を出でゝ未だ二ヶ月足らざるに何の因果か此度のやうな破目に陷らんとは、」と青年は吾ながら否が意思の弱きに呆れ果ても乘り掛けの此の場の仕誼何うならう事かとぞ思を決して道を急ぎ程經て禮山こそは歸りたり（つゞく）

社告

京城龍山紳士錄出版に付

聊か公衆の御便利に供せんが爲弊社は近々京城龍山紳士錄を出版するの考に御座候就ては該錄の編輯趣向及び製本の体裁等に關し是非共大方の御示教を仰ぎ度御氣付の御方は何卒弊社へ御垂教を玉はらんことを

敬白

三月

京城新報社

●韓語掲載

新來の方々が韓語習得の御便宜にもと簡單なる韓語の會話を明日よりの本欄に掲載し始むべし

●暴徒邦人を慘殺す

七日午前一時頃約五十名より成る暴徒全羅北道奥德郡サホウに來襲し日本人平井德藏外一名を慘殺し踪跡を晦ましたるを以て其筋に於ては目下捜索中なりとの報内部へ着したりと詳細は追て報ずべし

●嗜好會幹事

長唄嗜好會幹事林玉華氏は都合を以て今回辭任せられたるが同會にては當分幹事を置かざる由なり

●一昨日の歌留多會

一昨七日明治町なる大韓日報社員小山忠三郎氏宅に於て開催せられたる歌留多會は同家は明治派出看護婦人會事務所なることなれば婦人連の出席なかくに多く龍山鐵道派よりは稲葉山根和田山の諸勇士轡を並べて出席せられたることとて盛會を極めたり競技方法は組を分かちて連帶責任としたることなれば組合せの不幸よりして猛將勇士の無慘の敗を取りたるものあり而して其の最優者は稲葉（一等）二等河村（京城新報社）三等和田山（鐵管）四等佐々木（同）五等梅宮の諸氏以下十六等迄なり因みに斯道の寧馨兒龍山派の池田茂は始終盛んに其怪腕を揮ひつゝありき終りに當日の主催者が自費を拋つて多數の懸賞品を出し茶菓晝飯迄饗應せられたるは會合者の深く多とする所なり（一出席者）

●花柳病調査會

京城醫學會にては先般開會の際京城内の花柳病豫防に關し凝議する處ありしが右調査委員は七日午後七時より京城ホテルに參集し意見の交換をなしたるが當夜は桐原署長も参會したりと

●正誤

本月七日韓國駐箚陸軍倉庫購買廣告中入札期日を廿五日となしたるは廿六日の誤植に付玆に訂正す

●巷のいろ〳〵

▲長崎縣平民當時仁川濱町二丁目新木吉藏（五十）は八日午前一時頃當地倘洞三十一統居住朴一松方へ泥醉の結果無斷にて室内に亂入し剰へ寢込まんとするより其の旨其筋へ訴へ出でたるを以て警官出張種々懇諭したる處却つて暴行せんとしたるより南部署へ引致されたり▲六日午後八時頃旭町三丁目三好與七方の仕合ひに何者とも知れず石油をブッ掛けマッチを擦りて放火を企てたりしがマダ背の口とて附近のものに發見されたるが同家にては疊一枚唐紙一枚を燒失したりと▲七日午後一時頃同町許住融方の路次に積み置きし松葉に之れも石油を注ぎて放火をなさんとせしものありしを家人に認められ消し止めたるが犯人は未だに不明とは物騒なり

●臨時休刊

明日陸軍紀念祭に付明後日の京城新報は臨時休刊

●天氣豫報（自八日午後六時至九日午後六時）

南東の風

六日　一最高温度（華氏）四三、五　一最低温度　二三、四

本日午前六時韓國氣象概況 滿洲附近氣壓下降を始め一般に東風吹き北部は曇天其他は晴天なり

廣告

▲無料紹介欄▼

人事部

用達業に多年經驗を有す給料望まず雇はれたし　姓名在社（一八五）

求職業　友人歲二十才普通教育あり從來外國商館に勤め商店及會社事務員に雇はれたし但も電話に心得あり　社內河村（一八六）

店員入用　二十才以下にして身元保證人ある者　明治町一　西山商店（一八七）

でっち入用　十八歲以下にして身元保證人ある者　龍山元町三電三四三日韓組白米小賣店（一八三）

物件部

旭町一丁目山の手にて眺望絕佳の土地建物付にて讓り度し　姓名在社二（一七五）

慈惠院近傍にて旧部二十六町歩納家二棟農具各種小作人共讓渡し相談に應ず　姓名在社（一七七）

貸家　京城明治町二丁目所在二階建五間家賃十五圓、廿圓、卅五圓　手元用水便利也　明治町角藤田合名會社貸家係（電話二三〇）

貸地　龍山舟坡契（彈藥庫横）千五百坪便利賞附住居風景絕佳住宅向　京城北米倉町一丁目　多田商店（一八〇）

廣告

仁川宅支店

診察所　京城理事廳前電話八八〇番
池田內科小兒科醫院
療養所　旭町二丁目白耳義領事館隣（元伊國領事カサテ氏跡）
統監府通信管理局囑託醫學得業士前漢城病院內科主任　池田季雄

焦心單志多年窮研斷道雛於微義奧旨恍然似有得者匪堅推臆斷陋陋茫洋辭命淵臆系面輕發也
易斷觀相數授通信判斷一件一圓特別二圓
京城本町五丁目
三一館

鴨綠江特種木材九州セメント取次販賣
末口一尺八寸以上長さ五間迄其他各種材
京城旭町三丁目
建築業　柴田芝六
電話五六八番

小田原名產漬物類
いかつを鹽辛
佃煮類東京澤庵
其他諸漬物酒醬油
卸小賣
明治町一丁目四ツ角
西山商店

破天荒の大安賣出し
陛下餘寒尙難凌の候四方各位樣益々御清榮奉賀候弊店儀御蔭を以て日に増し隆盛に赴き候段難有奉多謝候就ては平素の御愛顧に酬へん爲め本日より向ふ一ヶ月間を限り正札より貳割引の大廉價を以て販賣仕候間何卒御購求の榮を得たく候也
明治四十二年三月一日
京城本町理事廳前　富田製靴本店
同　本町六丁目　同　第一支店
同　南大門外　同　第二支店

學理應用最新術式催眠及無催眠治療
頭痛、吃音、喘息、腎臟病、不姙症、脚氣、淋病
氣鬱症、耳鳴、黃疸、生殖神經病、ヒステリー
神經痛、齒痛、子宮病、神經衰弱、腦病、肩ノ凝
肺病、月經矯正、便秘、アルコール中毒、眩暈
胃腸病、心臟病、脊髓病、寢小便、リウマチス
トラホーム、結膜炎、鳥目、近視
京城若草町一丁目八十七番戶ノ七
弘濟療院
（若草町一丁目藤田雜貨店東へ入る二軒目門內櫻井町甲道西へ入る第二番生院隣）

精良石油賣出廣告
旗票石油は
光力强度鮮明なり
容器美麗堅固なり
容量充滿なり
無色透明なり
臭氣極少なり
各位愈々御繁榮大慶至極に奉存候陳者弊社は此度石油を輸入し精々廉價に販賣致し候間御試用の上御購求の程偏に奉願候　敬白
ライジングサン石油株式會社
韓國出張所
仁川英油組合
釜山英油組合
京城英油組合
特約販賣店
仁川本町四丁目
仁川海岸通三丁目
釜山本町二丁目
京城本町三丁目

營業科目
活版活字鑄造
石版銅版
木版彫刻
コロタイプ版
寫眞銅版
罫線製造
製本裝釘
今般日韓印刷株式會社ヲ日韓印刷株式會社ト改稱シ益々事業ヲ擴張シ……
日韓印刷株式會社
本社　京城明治町三丁目　電話（三二三番）
東京出張所　東京京橋區南鍋町一ノ十　電話新橋（三九六二番）

會席御料理
本町八丁目
富士見樓

美味にして滋養に富める好飲料
蜂印香竄葡萄酒
金牌受領　二十四個
東京　近藤利兵衞

西洋料理
東京高輪壽し
會席料理
丼類いろ／＼
折詰辨當
同　サンドーウヰッチ
南大門停車場構內
エーテー淵田
電話六八七番

大上商店
特約販賣自賣製
漬物
味噌
醬油　製造元
京城本町五丁目
和洋酒、罐詰、乾物荒物、食料雜貨、ビール、米糀、鹽辛各種特約販賣
御需に依り商品切手調進仕候
（電話二五一番）

電話六七五番
松岡醫院
植村病院跡
南山町二丁目
診療開始
弊院儀先般南山町二丁目植村病院全部を讓受け三月一日より診療開始仕候
二月一日

各位
日希商會
本町一丁目
トルコ煙草商
二月一日

大見切賣
金口卷莨各種
エヂフト卷莨
弊店儀營業上の都合に依り來る二十五日より三月二十五日迄（三十日間）現在品悉皆各國產煙草大見切安直を以て（但し現金）御高需に應じ候間此際陸續御用命の程奉願候

東京火災保險株式會社
明治廿年創立資本金一千萬圓
日本火災保險業の嚆矢
代辨店　山口吳服店
事務所　京城本町二の三電話九番

商標
S
元祖
この商標なきものはにせもの
滋養菓子
朝鮮名產
人蔘煉製飴
京城大和町　鳳炮堂謹製
發賣元
京城　龜屋商店
同　松屋商店
同　龜屋支店
同　大和軒
同　澁谷商店
同　寒水堂
仁川　額原商會
同　龍榮堂
平壤　龜屋支店
安東縣　龜屋支店
水原　中島商店

日本への土產としてよい菓子

京城特約店
京城南大門通
電話六〇三番
巴商會
韓國一手販賣
京城太平町二丁目

谷口無煙煉炭工場

特色
用途
火付容易火力耐久價格低廉
煖爐暖爐竈用に適す
省煉炭所東隣

新發明
燃料
無烟煉炭

神田組

侍合　ま花
電話
京城南山町一病院前
番

登記漢城府手續
諸願届代書
土地鑛山測量
集金取立代辨
土地家屋賣買其他
金錢貸借諸般ノ仲介
京城本町一丁目
民役所前
岡田事務所
電話七〇五番

統監府御用
諸官衙人力車
荷物荷造及運搬
伊藤組
營業　京城曙町（電話七三番）
本店　同本町三丁目（電話四〇番）

開業
ゴム印諸印章彫刻及石版印刷
廣告の爲め特にゴム印はアルミニューム式赤色ゴムを用い木印同一の價格にて大勉强仕候
京城旭町一丁目歌舞伎座前
武田耕玉堂

洋純
建良
……

日本郵船株式會社
仁川海岸通
瀛船仁川出帆廣告
貨物及船客取扱店
郡回漕店
電話三九番

●大連行（船客御斷）
新瀉丸　月　日午後五時出
●釜山長崎門司神戶行
山東丸　三月十三日後三時出
●大連、太沽、牛莊行
高砂丸　三月十八日正午時出
●大連、大沽、牛莊行
山東丸　三月三十日前五時出
●大連、大沽、牛莊行
酒田丸　四月八日正午出
●釜山出帆、元山、淸津、浦鹽行
立神丸　三月十七日午後
注意　御乘船ノ際ハ月尾島波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ノ事

●新聞料　一枚金二錢▲一ヶ月前金五十錢▲三ヶ月……▲六ヶ月前金……▲郵稅一ヶ月金……
●廣告料　▲五號活字十九字詰一行一回金四十錢▲……
發行兼編輯人　秋山忠三郎
印刷人　高木久馬太
發行所　京城新報社
京城西部四小門通
電話六六三番